

平成30年度 第2回寄居町地域公共交通活性化協議会

(書面会議)

<議 事>

議案第1号

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)
の自己評価について

<会議資料>

資料 No 1 議案第1号の要旨

資料 No 2 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料 No 3 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

議案第 1 号の要旨

議案第 1 号

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）の自己評価について

（当該評価の背景）

- 町のデマンドタクシーについては、地域公共交通確保維持改善事業補助金（フィーダーシステム補助金）を活用し運行している。
- 当該事業の規定により、補助金による支援を受けた事業は、毎年度協議会による事業の実施状況の確認と自己評価を行い、地方運輸局に報告することとなっている。
- 今回は、平成 29 年 10 月～平成 30 年 9 月までの平成 30 年度事業を評価するもの。
- 資料は、決められた様式となっている提出書類 2 枚。
- 資料 2 は、運行状況を事務局が作成した評価したもの。
- 資料 3 は、資料 2 の添付書類であり、協議会が生活交通確保維持改善計画に掲げる地域交通の目指す姿を報告するもの。
- 今回資料 2・3 を事務局で作成したので、この案で地方運輸局へ報告してよろしいか、委員の皆さんにお諮りするもの。

（評価の概要）

- 資料 2 について
 - 「④事業実施の適切性」は、計画通り実施できたので「A」とさせていただく。
 - 「⑤目標・効果達成状況」は、
 - 利用者数は、利用者 46 人／日（目標は 44 人／日）で目標を達成した。
 - 収支率は、20.6%（目標は 26%）で目標は達成できなかった。
 - よって目標を達成できていない点があったので、「B」とさせていただく。

上記を踏まえ、「⑥事業の今後の改善点」は、収支率の向上のため、乗合率の向上、予約ができなかった対象者をいかに少なくするかといった点に着目し、今後の事業に活かしていきたい。

○資料 3 について

町がデマンドタクシー事業を実施する目的やその必要性を記載したもの。
交通不便地域居住者や高齢者等の移動手段を確保することが、ドア・ツー・ドアによる町のデマンドタクシー事業実施の目的です。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料2

平成31年1月日

協議会名: 寄居町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内ファイダーシステム)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
大信観光花園有限公司 有限公司本間タクシー 株式会社桜交通	・デマンド型の乗合タクシーを町内全域運行する。 ・事前予約に応じてドア・ツー・ドア方式により運行する。	利用状況のデータを蓄積・分析するとともに利用率向上に向けた検討を行った。 HP等の情報の見直しや発信を積極的に行った。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	H29(29.10～30.9)事業 ○目標 ・利用者数…44人/日 ・収支率…26% ○達成状況 ・利用者数 46人/日 ・収支率 20.6% ・収支差 16,533千円 (運行経費 20,834千円) (収益 4,301千円) ・相乗り率 49.5%	収支率が目標に及ばなかった。 人件費の増加等により運行経費が増加したことが要因の一つと考える。 予約ができなかった対象者の集計情報を生かす。当日や時間帯の希望が多い。曜日や時間帯による傾向を把握するとともに、利用時間の重複が問題と考える。 また、新規登録者は増えていないが利用に結びついていないケースがあるため、利用しやすい環境づくりを目指す。 広報宣伝により乗合率を向上させ利用者数を増やしていく。
④事業実施の適切性: 生活交通確保維持改善計画に基づく事業が適切に実施されたかを、A,B,Cの3段階で評価する。 A: 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された B: 事業が計画に位置づけられたとおり実施されていない点があった C: 事業が計画に位置づけられたとおり実施されなかった					
⑤目標・効果達成状況: 生活交通確保維持改善計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成された(達成できる見込み)かを、設定した目標ごとにA,B,Cの3段階で評価する。 A: 事業が計画に位置付けられた目標を達成した(する見込み) B: 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み) C: 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)					

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成31年1月 日

協議会名:	寄居町地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内ライダーシステム)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	町内を面的にカバーするフルデマンド方式のタクシー運行により、交通不便地域居住者や高齢者等の日中の自立移動の手段が確保されていること。